

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	美術博物館活動推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	美術博物館		包含する細々目	1	10	5	6	11	1	7,501
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	28 学習交流活動の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	1	年度～	年度	関連計画 ・地域史研究事業 ・伊那谷自然史調査研究保管事業 ・伊那谷自然史調査研究保管事業						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田下伊那広域圏の地域住民	圏域住民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			177000	177000		
	・施設の運営をおこなう。 ・郷土の偉人・天文への学習が深まる。 ・市民の自主的な調査研究活動が盛んになる。	柳田館・日夏館の入館者数・プラネタリウム観覧者数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			18目標 10000	最終目標		
	18実績 10967	19目標 11500	↑			
23目標 20000	23実績					
自然友の会・伊那谷民俗学研究所の刊行物	自然友の会・伊那谷民俗学研究所の刊行物	18目標 11	最終目標		最終目標達成年度	
		18実績 11	19目標 11	↑		
		23目標	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	柳田國男館、日夏耿之介記念館の運営、プラネタリウム投影、伊那谷の自然と文化研究事業及び学術研究補助金	・プラネタリウム投影賃金・柳田館運営指導者謝礼・展示用消耗品・プラネタリウム番組チラシ印刷・展示等委託料・プラネタリウム番組製作委託料・伊那谷自然友の会、柳田國男民俗学研究所への研究事業補助金	千円	6714
	18年度の実績			
	19年度計画	・プラネタリウム投影賃金・柳田館運営指導者謝礼・展示用消耗品・プラネタリウム番組チラシ印刷・展示等委託料・プラネタリウム番組製作委託料・伊那谷自然友の会、柳田國男民俗学研究所への研究事業補助金	千円	6700

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	7,210	7,501
	事業費計(A)	7,210	7,501
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度 600
	臨時職員等所要時間	0	
	人件費計(B)	2,146	2,146
	トータルコストA+B	9,356	9,647

特定財源内訳や補足事項	美術博物館観覧料、学術研究進行基金利子、美術博物館図録等売却代
-------------	---------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・学びの機会が得られる	・学習活動をおこなっている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
柳田國男館、プラネタリウムは美術博物館開館時、日夏耿之介記念館は更に先立つ昭和54年に設置。郷土ゆかりの偉人を紹介し、美術博物館を伊那谷の文化の拠点とするため。研究助成は開館時から市民の研究学習活動を支援するため。	・日本民俗学の創始者柳田の評価が高まっているが、日夏への一般的な理解は薄らぎつつある。 ・プラネタリウムは、天文教育だけでなく、特に幼児・児童の情操教育に役立っている。しかし一方で機器の故障が目立ってきている。 ・伊那谷自然友の会、伊那民俗学研究所及びその会員は、美博と連携した調査研究、学習、普及活動を活発におこなっている。	・郷土の偉人や自然、民俗など地域文化に関する問い合わせが増加している。 ・プラネタリウムの充実を望む声がある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	・運営、管理方法の検討 ・地域住民の合意、内部の調整が必要。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	